

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者
(○をつける)

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. オーガニックビレッジの推進について

(1) 全国オーガニック給食協議会への加入について

- ① 令和6年9月の定例会議における個人一般質問において、「学校給食の有機化」を目指すことによって地元の子どもたちに安心安全な食材を提供できることから農家のモチベーションが向上し、作ったら買ってもらえると販路の安定化になることから有機農産品の生産量が飛躍的に増加している千葉県いすみ市の事例を紹介した。浜田市がオーガニックビレッジを目指すのであれば、生産者の意欲向上や販路確保につなげるためにもこの協議会に加入して、先進事例を学び農業振興に努めるべきと加入を提案した。検討するとの回答であったが、加入するのか市のその後の検討状況を伺う。

2. 人権や文化を尊重する共生社会の実現について

(1) 手話言語条例の制定について

- ① 令和6年12月に松江市手話言語条例が制定された。平成25年10月に鳥取県が初めて条例を制定して以降、制定する自治体は増加している。全日本ろうあ連盟の調査によると、39都道府県21区364市125町7村で合計556の自治体が制定したとのことである。島根県では松江市・出雲市・益田市・吉賀町・津和野町の3市2町が既に条例を制定している。浜田市は全国手話言語市区長会の会員でもあることから、この条例の制定に向けて動くべきと考えるが、市の認識を伺う。

3. 小中学校における教育環境の充実について

(1) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた教育環境について

新しい学習指導要領は「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の養成」を目標として総則に規定されている。指導に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進め子供たちの力をバランスよく育むことを求め改訂され、小学校では令和2年から、中学校では令和3年から全面实施となっている。

- ① 「主体的・対話的な学び」についてどのような支援をしているのか、現状を伺う。
- ② 「深い学び」についてどのような支援をしているのか、現状を伺う。

(2) 3Dプリンター等の最先端機材の導入について

- ① 3Dプリンターは配備できているか、台数と配備した学校を伺う。

(3) 校舎の外の自然に関する教育題材について

- ① 水田・畑をもつ学校はあるか伺う。
- ② ビオトープのある学校はあるか伺う。
- ③ 鶏や山羊などの動物を飼育している学校はあるか伺う。
- ④ 百葉箱を設置している学校はあるか伺う。

4. 「ふるさとにしたいくなるまち」を伝える情報発信について

(1) 長野県南箕輪村の移住定住促進サイトについて

南箕輪村は明治8年に人口2,333人で誕生し、その後合併をすることなく今日に至り人口は1万6千人を超えている。全国に先駆けて行ってきた多種多様な子育て支援や高齢者支援等の成果でもあり、加えてSNS等の口コミ情報の拡散によるところが大きいとの村の担当者の分析である。

- ① 情報発信の重要性から南箕輪村の移住定住サイトのトップページを見ると、子どもが笑顔で遊ぶ画像などが50秒の短時間に30枚程度流れ楽しさが伝わってくる。また、トップページの1枚のフレームの中に移住定住として知りたい情報の入り口が全て配置されており「知りたい情報はどこだ？」と探すストレスが少ないと思うが、浜田市としてこのサイトをどのように受け止めるか、その認識を伺う。